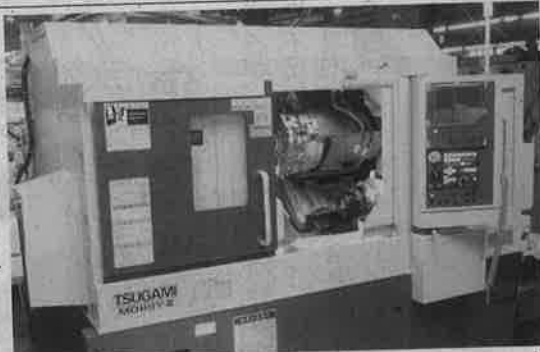


高洋電機が設備増強

半導体関連部品など照準

【津】高洋電機（三重県玉城町、高祖雅規社長）は、12月までにコンピュータ数値制御（CNC）旋盤や自動盤、複合加工機など計6台を導入する。総投資額は約1億2000万円。半導体製造装置や自動車、電機向けの量産部品を加工する。設備の増強や更新で生産能力を高めて受注を増やし、売り上げの拡大につなげる。

高洋電機の主力は切削加工による自動車や産業機械、錠前、半導体製造装置などの量産部品製造。新導入する機械の半分は、半導体製造装置の部品加工を増強。生産能力を高め、同産業分野での売り上げを増やす考え。



電機向けの量産部品加工用に導入したツガミ製のCNC旋盤「M08SY-II」

そのため、11月にヤマザキマザック製の複合加工機「i-2クス」50HSを導入する予定。また、1000Uを新規に導入する予定。また、11月にヤマザキマザック製の複合加工機「i-2クス」50HSを導入する予定。また、11月内にシチズンマシナリー製の高精度CNC旋盤「GN-4200」2台も入れる予定だ。

古い機械の更新でシチズンマシナリー製の主軸移動型CNC自動旋盤「L20E-2M10-LFV」を12月に採用する計画。いずれも主に半導体製造装置に部品加工を使用する。半導体装置向け以外の設備も強化する。9月末にツガミ製のCNC旋盤「M08SY-II」とCNC精密自動旋盤「B0385LIII」を導入済み。M08は主に電機向けの量産部品を、B0385は自動車の量産部品を加工する。また、自動車の量産部品向けでは、11月内にシチズンマシナリー製の高精度CNC旋盤「GN-4200」2台も入れる予定だ。

富山でモノづくり見本市

リアル展示復活 26日開幕

【富山】富山県は26日、富山市の富山産業展示館（テクノホール）で「モノづくり見本市」を開催する。工業技術やサービス技術のリアルな展示を行う。2007年以降、技術やサービス技術のリアルな展示を行う。2007年以降、技術やサービス技術のリアルな展示を行う。

自身の実験を発表する「リクルートセッション」も開催。採用や人材育成などにも焦点を当てる。期間中2万5000人の来場を見込む。

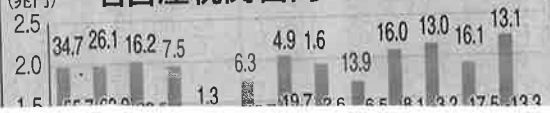
か・ず・の し・る・べ

— 統計を読む —

愛知など5県の輸出

9月、13%増2.2兆円

名古屋税関管内の貿易概況



名古屋税関管内の貿易概況
356億円とな
貿易収支は同65

「未来共創」研究始動

愛知・西尾市など3者連携

【名古屋】愛知県西尾市は事業構想大学院大学、機械商社の安藤（名古屋昭和区、安藤仁志社長）と連携し「西尾未来共創プロジェクト研究」を発足、2024年7月までに計18回の講義を経て事業計画を固める。

研究会は邦史教授がリーダーとなる。参加者の出、事業構想など、西尾市は24年研究会の拠点となる。研究会は邦史教授がリーダーとなる。参加者の出、事業構想など、西尾市は24年研究会の拠点となる。